



2014～2015年度

# 中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2014～2015年度  
国際ロータリー・テーマ  
ロータリーに輝きを  
Light Up Rotary

国際ロータリー会長  
ゲイリー C.K. ホアン

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 梶原 清二      幹事 川崎 潤      会報担当 中島 宏一郎      クラブ広報委員長 中島 宏一郎

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

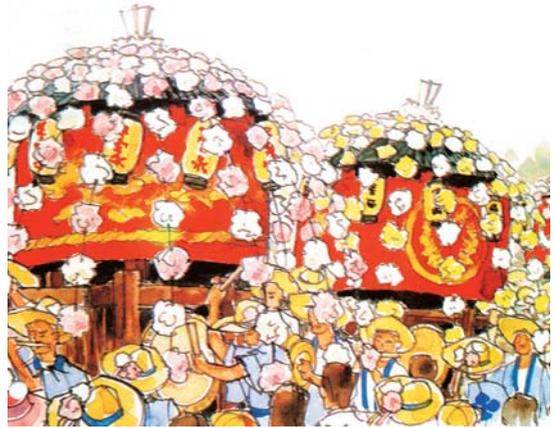
e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

## 第1176回例会 平成26年8月21日(木)

●本日の例会プログラム 「東九州自動車道について」NEXCO西日本  
グランプラザ中津ホテル

◎次回例会プログラム 「会員拡大について」会員増強退会防止委員会  
グランプラザ中津ホテル



### 前回(1175回例会)の記録

平成26年8月7日(木)

#### ■ゲスト

#### ■ビジター

#### ■出席報告

会員数	24名
免除者数	1名
対象者数	23名
本日出席者	17名
欠席者数	6名
出席率	<b>73.91%</b>

#### ■1174回出席報告の修正

1174回欠席者	3名
メイクアップ	2名
欠席者	1名
修正出席率	85.71% → <b>95.24%</b>

#### ●メイクアップ

若松会員(中津中央7/15)  
仲本会員(中津中央7/29)

#### ●欠席者 川崎会員

◎ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

◎会長の時間 梶原清二会長

昨日8月6日は広島に原爆が投下されて69年目の記念すべき日でした。

灼熱ともすごい爆風で瞬時に亡くなった大勢の人々、焼けただれ重傷をおった人々は川に殺到し、そこで亡くなりました。14万人が亡くなったといわれています。

助かった人々も後遺症で現在も苦しんでおられます。

被爆者の平均年齢が79・44歳だそうです。

それから、次世代に語り継ぐ「かたりべ」の人々が少なくなっているそうです。

今年は世界から68カ国の代表が参列してくれました。

アメリカからはケネディ駐日大使が大使就任後初めての出席。アメリカの大使としては4人目。キャロラインさんは20



歳のとき伯父エドワードさんと来日し、広島原爆資料館を見学して強烈な印象を受けたとのこと。9日の長崎の記念式典にも参列したいとのこと。

毎年思うことですが、核の均衡の上に成り立っている平和とは本当は平和なんだろうかということです。

何らかの理由であるいは突発的に戦争に突入した場合を想定するととても安心してられません。

人類の英知を結集して平和な世界を永続させたいものです。

◎幹事報告 川崎潤幹事

●例会変更 別府RC、別府北RC、別府東RC、別府中央RC、大分キャピタルRC、杵築RC、湯布院RC、津久見RC、国東RC、宇佐RC

●週報受理 津久見RC、仙台平成RC、宇佐八幡RC





2014～2015年度

# 中津平成週報 Rotary Club Of Nakatsu Heisei

2014～2015年度  
国際ロータリー・テーマ  
ロータリーに輝きを  
Light Up Rotary

- 会報受理 中津沖代ライオンズクラブ
- 幹事報告
- ・2014-15年度「RI超我の奉仕賞」の推薦について
- ・グローバル補助金PJチーム発足のご案内とアンケート実施について
- ・ロータリーの友8月号
- ・「第13回ロータリー全国囲碁大会」開催のご案内
- ・ガバナー月信 ホームページ掲載
- ・8月28日 養父ガバナー補佐 来クラブ

## ◎本日のメニュー



## ◎委員会報告 辛島会員

昨年度皆勤出席者の報告と表彰、前回の例会で出席できなかった土居会員へ

### ◎ニコニコボックス クラブ広報委員会

〔辛島会員〕 本日は久しぶりにお会いする方がいましたのでニコニコします。

〔松本会員〕 今から葬儀のため早退します。

〔加来会員〕 葬儀のため早退させていただきます。

〔永松会員〕 入会后初めてニコニコします。万田の土地が売れたのとソーラーが動き出しました。

〔黒瀬会員〕 身内の初七日の法事のため、早退させていただきます。

〔初倉会員〕 2時より仕事のため、例会終了後の理事会を欠席します。

〔土居会員〕 昨年度は会長として大変お世話になりました。本日は葬儀のため早退させていただきます。入会より初の皆勤でしたのでニコニコします。

## ◎会員卓話

「お盆について」

中島会員



「お盆」の起源と語源となった「盂蘭盆」について説明。  
お盆(おぼん)は、太陰太陽暦である和暦(天保暦など旧暦という)の7月15日を中心に日本で行なわれる、祖先の霊を祀る一連の行事を言い、一般に仏教の行事と認識されているが、仏教の教義で説明できない部分も多い。  
古神道における先祖供養の儀式や神事を、江戸幕府が庶民に強いた檀家制度により仏教式で行う事も強制し、仏教行事の「盂蘭盆」(うらぼん)が習合して現在の形が出来たとされる。

仏教用語の「盂蘭盆」の省略形として「盆」(一般に「お盆」と呼ばれる。

盆とは文字どおり、本来は霊に対する供物を置く容器を意味するため、供物を供え祀られる精霊の呼称となり、盂蘭盆と混同されて習合したともいう説もあるとのこと。

日本で一般的に伝えられている目連尊者の伝説の紹介。  
盂蘭盆会(うらぼんえ)とは、安居(あんど)の最後の日、旧暦7月15日を盂蘭盆とよんで、父母や祖霊を供養し、倒懸(とうけん)の苦を救うという行事である。これは『盂蘭盆経』(西晋、竺法護訳)『報恩奉盆経』(東晋、失訳)などに説かれる目連尊者の餓鬼道に墮ちた亡母への供養の伝説による。『盂蘭盆経』に説いているのは次のような話である。  
安居の最中、神通第一の目連尊者が亡くなった母親の姿を探すと、餓鬼道に墮ちているのを見つけた。喉を枯らし飢えていたので、水や食べ物を差し出したが、ことごとく口に入る直前に炎となって、母親の口には入らなかった。哀れに思って、釈尊に実情を話して方法を問うと、「安居の最後の日にすべての比丘に食べ物を施せば、母親にもその施しの一端が口に入るだろう」と答えた。その通りに実行して、比丘のすべてに布施を行い、比丘たちは飲んだり食べたり踊ったり大喜びをした。すると、その喜びが餓鬼道に墮ちている者たちにも伝わり、母親の口にも入った。そのことから、仏教ではお盆と施餓鬼供養を結びつけて祀る宗派も多くあるとのこと。

京都の大文字焼きや、各地で行われている精霊流しや盆踊りなどの風習、七夕(棚幡)とお盆の関連について説明。